

# 「両正条植え」で縦横の機械除草が可能に！ —省力的な機械除草が有機栽培の拡大に貢献—

- 水稲の苗を等間隔の碁盤の目状に植える「両正条植え」の技術を開発。
- 従来、乗用除草機では一方向の除草しかできなかったが、この技術によりタテとヨコの二方向からの機械除草ができるように。

研究機関：農研機構

植付位置を精密に制御できる機構を開発



両正条田植機



慣行田植え

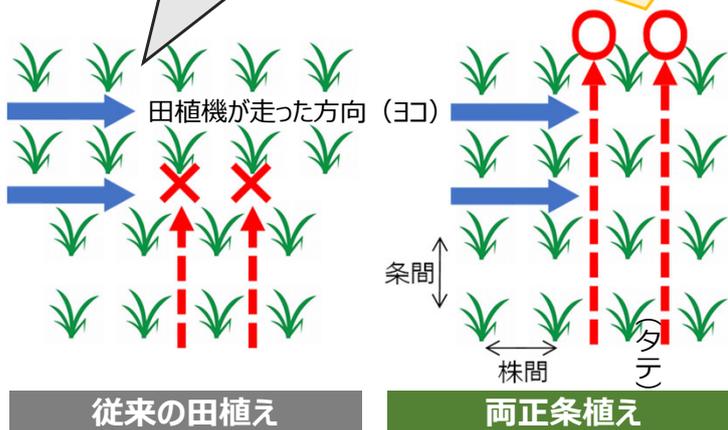


両正条植え

両正条植えを実施した水田の様子

除草機は、ヨコには走れるが、タテには走れない

除草機が、タテにもヨコにも走行でき、株間の機械除草も可能！

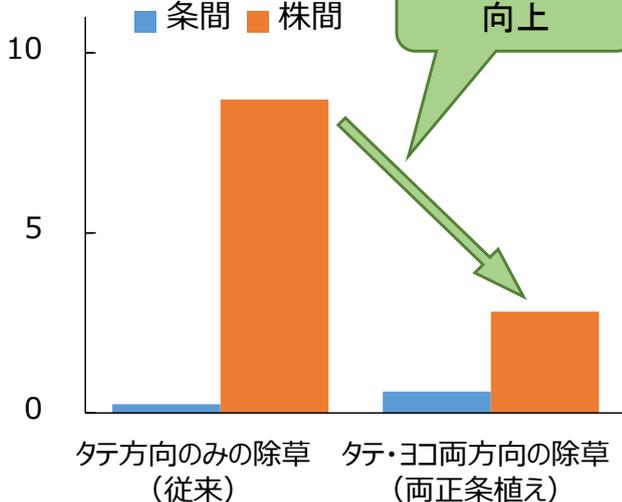


従来の田植え

両正条植え

従来の田植えと両正条植のの違い

機械除草後に残った雑草の量 (g/m<sup>2</sup>)



タテ方向のみの除草 (従来)      タテ・ヨコ両方向の除草 (両正条植え)

機械除草後の雑草の量

※無除草区の雑草量は、約30g/m<sup>2</sup>

## 導入により期待される効果

除草の手間が課題となっていた水稲の有機栽培において、省力的な機械除草が可能となることで、有機栽培の取り組み面積拡大に貢献。

連絡先 農研機構 農業機械研究部門 研究推進室 広報チーム

e-mail: iam-koho@ml.affrc.go.jp